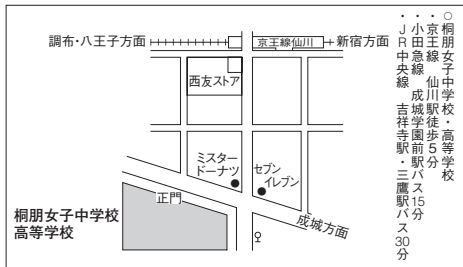


とう ほう じょ し
桐朋女子高等学校

〒182 - 8510 東京都調布市若葉町1 - 41 - 1 中・普通科TEL03 - 3300 - 2111 学校長 内田 美保子



〈URL〉<https://chuko.toho.ac.jp/>

沿革 昭和16年（1941）に開設された山水高等女学校（男子部は国立市）を前身としています。同23年学制改革により、女学校を桐朋女子中学校・桐朋女子高等学校として発足。同27年桐朋女子高等学校に男女共学の音楽科を付設しました。

校風・教育方針

「こころの健康 からだの健康」をモットーに、「ことばの力」を大切に、論理的思考力を鍛え、コミュニケーション力を高めて、問題解決能力と創造力に富んだ主体性のある女性を育成します。学びの面では「ことばの力」を育むプログラムに重きを置き、これからのグローバル社会で求められる対話力を養います。過程から学びを得る Leading by Doing を実践し、創造力あふれる女性の育成を目指します。

カリキュラムの特色

独自の教育システムによる自己教育力の育成
ブロック制 6年間を2年ごとの3つのブロック（A・B・C）に分けることで、心身の発達に応じたきめ細かな指導を実現しています。ブロックそれぞれに目標を設け、教室や職員室を含めて各ブロックの校舎は独立した形で設置されています。
自分で決める・自分で作る Aブロックから、英語・数学はクラスを分割し、小クラスで行います。中2以降は習熟度別のコースを選びます。芸術、体育は科目や種目を選んで学びます。高校では自由に選択できる科目を数多く用意しています。
探究的な学び オリジナルの探究学習「T-Project」

今春の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



で実践しているのは、桐朋女子が開校以来、80年以上にわたって大切にしてきた探究的な学びです。結果をあせらず過程を重視する姿勢、本物にふれるためのフィールドワークや実験等の活動、物事を論理的に整理して他者に伝える力など、桐朋女子が常に意識してきた学びの上に成り立ちます。
論理的思考力の土台を作る 国語は、中学では読解や鑑賞に加えて、「論理的思考に基づく言語スキル獲得のための段階的指導」を行い、ことばを論理的に運用するスキルを体系立てて学びます。それを土台として、高校では「論述テスト」や「レポート課題」に取り組みます。

帰国生・グローバル教育 1959年から帰国生を受け入れており、2025年3月現在、70人の帰国生が在籍しています。25カ国からの帰国生を含む多様な背景を持つ生徒たちが学び、グローバル時代に求められるスキルを育む多彩なプログラムを展開しています。放課後の英会話教室のほか、海外研修として、希望者対象の豪州・シンガポール研修（高1）、ニュージーランド・タム留学プログラム（高2）を実施。夏休みには、I.S.T（異文化サマーキャンプ）を行っています。

書く力の育成 「書くことは考えることに繋がる」との考えから、6年間にわたりレポート課題など数多くの「書く指導」が各教科で行われ、思考を深める契機となっています。入学直後の武蔵野巡検では、レポートの書き方から指導します。

本物に触れる教育 例えば中学1年の生物では、年間10回ほどの実験実習が行われ、その都度レポートなどのまとめ学習が行われます。Bブロック以降は実験や実習の授業が多く取り入れられます。



2期制

登校時刻 8:25

昼食 弁当持参、食堂、売店

土曜日 授業

環境・施設設備

通学に便利な位置にありながら、閑静な環境にあります。実験・実習を重んじた教育内容に対応して、中高の図書室、天体観測室など多くの特別教室を設置しています。総合保健体育センターにはバドミントンのコートが6面とれる第一体育室をはじめ、4つの体育室、屋内プールがあります。校外施設としてハケ岳高原寮があります。

学校行事・クラブ活動

関西旅行（高2）、東北研修旅行（中3）など、

データファイル

■2026年度入試日程

中学校 帰国生入試あり ＊公立中高一貫校受検者は2/10					
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
A	約130	1/10～1/25	2/1午前	2/1	2/6
B	約40	1/10～2/1	2/2午後	2/2	2/6
CE	約10	1/10～1/25	2/2午前	2/2	2/6
論理&発想	約40	1/10～1/30	2/1午後	2/2	2/6＊

■高等学校 ＊推薦の募集人員に帰国生含む

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
推薦	約25＊	1/16	1/22	1/22	1/23
一般	約40	1/25～1/31	2/10	2/10	2/13＊

＊一般は3/3まで延納可

■2026年度選考方法・入試科目

中学校

A入試：筆記試験2科（国・算各100点45分）、口頭試問（口頭試問準備約40分、試問約15分）

B入試：筆記試験2科か4科（国算各100点45分、理社各50点30分） **Creative English入試**：英語（準備課題約30分、インタビュー約10分） **論理的思考力&発想力入試**：記述型試験（言語分野・理数分野各100点50分）

高等学校

普通科 推薦：書類審査、面接 **【出願条件】** 内申 9科34か5科19（加点措置あり） 欠席3年間20日以内

一般：国語、数学、英語（リスニングを含む）、面接 併願優遇の基準は推薦に＋1

帰国生：A選考：外国語による作文、面接 B選考：国語、数学、英語、面接

■2025年春併設大学・短大への内部進学状況

付属校として特典はなく、他校生と同様に扱われます。

企画力を養い見聞を広め、学習を深める様々な行事を実施しています。ハケ岳合宿（中2・高1）では、宿泊活動を通して自主性や社会性を育てます。観劇や講演などの学年企画も行われます。生徒会が企画運営する体育祭や桐朋祭（文化祭）などでは、生徒全員が熱心に取り組みます。クラブ活動は、多くの生徒が活動しています。運動部は陸上部、新体操部、剣道部、ダンス部など12部。文化部は、ギター部、コンピュータ部、放送部、音楽部（音楽班・合唱班）、家庭科部など18部。みんなと切磋琢磨して高め合い、学年の枠を超えたチームワークが築かれています。

桐朋学園大学－1（音楽）

桐朋学園芸術短期大学－1（芸術）

■指定校推薦枠のある主な大学

青山学院大 学習院大 北里大 慶應義塾大 国際基督教大 上智大 中央大 東京薬科大 東京理科大 法政大 明治大 立教大 早稲田大など

■2025年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
155人	129人	1人	2人	1人	0人	22人

■2025年度入試結果

中学校 Aに帰国生を含む

募集人員		志願者数	受験者数	合格者数	競争率
A	約130	124	117	99	1.2
B	約40	180	86	66	1.3
CE	約10	4	4	4	1.0
論理&発想	約40	52	30	22	1.4
帰国	約20	7	7	7	1.0

高等学校 ＊普通推薦に帰国生を含む

募集人員		志願者数	受験者数	合格者数	競争率
普推薦	約15	14	14	14	1.0
一般	約50	13	13	9	1.4
併優	約20	12	12	12	1.0
帰国	約20	5	4	4	1.0

（学校説明会）要予約

★中学校 10/26（入試体験会）11/15（入試体験会）12/20

ナイト 11/7 1/6

★高等学校 11/1

個別相談会 11/30

（見学できる行事）

桐朋祭 9/27・9/28（個別相談コーナーあり）

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください